

## 江戸川区消防団運営委員会議事録 要約

開催日時	令和元年10月9日（水曜日） 開会：13時30分 ～ 閉会：14時02分
開催場所	災害対策本部室
諮問事項	「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」
出席者 (17名)	委員長 齊藤 猛 委員 上野和彦（都議会議員） 宇田川聡史（都議会議員） 河野ゆりえ（都議会議員） 小野瀬二郎（江戸川防火防災協会会長） 宇田川清（葛西防火防災協会会長） 松下幸博（小岩防火防災協会会長） よぎ（区議会議員） 小林あすか（区議会議員） 齊藤 翼（区議会議員） 佐々木勇一（区議会議員） 中山隆仁（区議会議員） 大橋美枝子（区議会議員） 久貝壽之（江戸川消防署長） 山田羊一（葛西消防署長） 秋山隆繁（葛西消防団長） 村瀬光一（小岩消防団長）
欠席者	西村俊成（小岩消防署長）、渡邊辰雄（江戸川消防団長）
傍聴者数	1名
配付資料	1 審議資料（別紙のとおり）
次第	1 開会 2 委員長挨拶 3 新委員の紹介 4 議事 諮問について 「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」 5 その他 （1）江戸川区消防団の現況 （2）江戸川区災害の状況 6 閉会

審 議 内 容	<p>4 議 事 諮問について 「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」</p>
	<p><b>事務局</b> (審議資料の説明)</p>
	<p><b>委 員</b> 機能別団員の現員数と更なる拡充の内容を教えてください。</p>
	<p><b>事務局</b> 消防団ごとに規約が定められています。 葛西消防団では、任務指定団員という形で規約上は導入をされていますが、現在の入団はありません。 基本団員と同様、特色やメリットについて周知を図り、募集広報を行っています。 江戸川消防団では、OB団員という形で2名の方が入団しています。</p>
	<p><b>委 員</b> 機能別団員の処遇と研修費用について教えてください。</p>
	<p><b>事務局</b> 処遇は、年間での回数に差は出ますが、月2回程度出ていただいている方もいます。回数が多くなることが予想されることから、報酬や費用弁償も基本団員と同じです。 研修も、同じく費用弁償は支給をされます。</p>
	<p><b>委 員</b> 消防団OBや東京消防庁OBなどが望ましいとあるが、看護師や介護士など多面的に呼びかけたらどうですか。</p>
	<p><b>事務局</b> ご意見を踏まえまして、答申の案を作成します。</p>
	<p><b>委 員</b> 魅力向上・活性化策における活動の宣伝方法を教えてください。</p>
	<p><b>事務局</b> 地域まつりや葛西地区では専門学校が多いことから、今年度は4回ほど入校前後に、新入学生に消防団への勧誘を行いました。 また、救命士養成の専門学校では十数名の専門学校生が団員として積極的に活動をしていただいているところです。 さらに、町会との連携と、もちろん地元の方と連携というのは一番大</p>

切だと思えます。各分団が各町会と連携し、積極的に活動していますが、そちらについても努力を継続してまいりたいと思えます。

## 5 その他

### 事務局

(江戸川区内消防団の現況・江戸川区内火災・救助等災害状況の説明)

### 委員

別添え1の消防団の現況で、葛西消防団の可搬ポンプが15台とあります。江戸川消防団、小岩消防団と比べて分団の数がそんなに違わないのに、可搬ポンプが少ない理由を教えてください。

### 事務局

消防団の可搬ポンプの数は、各分団の中に部があり、そこに消火班が設置をされています。その消火班と同じ数の可搬ポンプが配置されているということで、その班の活動分のポンプ数ということです。